

【Insectopia (インセクトピア)】とは：insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



日本に迫るヒアリの脅威と国内対策

南米原産の外来種「ヒアリ」 その小さな体には強力な毒が潜み、刺されると激しい痛みを引き起こし、時には命に関わる場合もあります。近年、貨物やコンテナを經由して世界中へと拡散し、日本でも生息が確認されています。本号では、ヒアリがもたらす脅威や定着を防ぐために進められている取組みについてお伝えします。

ヒアリはいつから日本へ？

日本でヒアリが初めて発見されたのは、2017年5月のこと。兵庫県尼崎市で、中国・広東省広州市の南沙港から運ばれた貨物船のコンテナ内部で見つかりました。同年6月、専門機関による検査でヒアリと正式に確認され、大きな話題となりました。さらに、2023年4月には、まん延した場合には生態系への深刻な影響や国民の生活に及ぼすリスクが懸念されることから、「要緊急対処特定外来生物」に指定され、対策の重要性が一層高まっています。

2024年度の国内ヒアリ発見大規模事例 (情報元：環境省)

| 発見日 | 確認地点 | 個体数 |
|------|---------------------------|----------|
| 5/16 | 神奈川県横浜市 (横浜港本牧) | 1,000匹以上 |
| 8/21 | 愛知県一宮市 | 約1,000匹 |
| 7/26 | 東京都大田区 (東京港中央防波堤外側コンテナふ頭) | 約620匹 |
| 8/20 | 大阪府大阪市 (大阪港) | 約600匹 |
| 6/25 | 大阪府大阪市 (大阪港) | 約550匹 |

ヒアリの生態とは？

- ・ 大きさ：2.5～6mm
- ・ 体色：赤褐色、腹部は黒っぽい褐色
- ・ 巣の形状：「アリ塚」と呼ばれるドーム状の巣
- ・ 巣の場所：芝生や畑地など日当たりの良い場所

ヒアリの被害

ヒアリに刺されると、焼けるような激しい痛みがあり、半日～2日以内に紅斑や水ぶくれができます。また、過去にヒアリに刺されたことがない場合でもアナフィラキシーを起こす可能性があり、海外では死亡例も報告されています。ヒアリは健康被害のほか、在来のアリの駆逐するなどの生態系への影響、農作物への被害、電気設備に侵入し漏電による火災を引き起こすなど、様々な被害が報告されています。

国内の連携で侵入と拡散を防ぐ！

ヒアリの侵入は今後も続く可能性が高く、対策の強化が急務とされています。日本では、環境省、検疫所、自治体、研究機関が連携して多角的な取り組みを進めています。たとえば、侵入防止のために港湾でのモニタリングや、輸入貨物の検査を強化するほか、市民への啓発活動として、環境省や自治体のウェブサイトでヒアリに関する情報を提供しています。また、発見時の迅速な対応を支援するため、「ヒアリ相談ダイヤル」を環境省が設置し、報告窓口として活用されています。
(ヒアリ相談ダイヤル：0570-046-110)

早期発見と通報が重要

シェルグループでは、お問い合わせを受けた際に関係機関と連携し、迅速かつ適切な対応を進めています。疑わしいアリを発見した場合は、専門のペストコントロール事業者にご相談いただくか、自治体や環境省へ速やかに連絡し、検査や防除など必要な措置を迅速に講じるようにしてください。



2026年4月「PFAS」水質検査義務化へ

「PFAS」検査と改善が義務化

有機フッ素化合物（PFAS）の一部の化合物は生物蓄積性や毒性が懸念されており、人体への悪影響も指摘されていることから、環境省は自治体や水道事業者に検査および改善を義務付ける方針を決定しました。基準値は、2020年に政府が設定した暫定目標値と同じく、水道水1リットルあたり50ナノグラム（PFOAとPFOSの合計値）に設定されています。この規制は2026年4月から施行される予定です。

そもそも「PFAS」ってなに？

PFASとは、有機フッ素化合物の総称で、フッ素と炭素を人工的に結合した化合物を指します。環境中に蓄積しやすく分解されにくい性質を持ち、「永遠の化学物質」とも呼ばれています。PFASには約1万種類以上の物質が含まれていますが、そのうち以下の2種類については、生態系や人体への影響が懸念されています。

- ・ PFOA（ペルフルオロオクタン酸）
- ・ PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）

PFASがもたらす影響とリスク

- ◆健康への影響
 - ・ 発がん性やホルモンバランスを阻害する懸念
 - ・ 甲状腺疾患や生殖機能の異常、肥満、心疾患等への懸念
- ◆環境への影響
 - ・ 土壌や水質への汚染の懸念
 - ・ 動植物への蓄積や生態系全体へ悪影響を及ぼす懸念

検査義務化の背景

これまでPFASに関する検査の法的義務はありませんでしたので、2024年11月に公表された全国調査では、PFAS検査を1度も実施していない水道事業者が全体の4割に上ることが判明



しました。この状況を受け、政府は管理の強化が必要と判断したのです。一方で、検査義務化に伴う費用負担の増加も懸念されています。今後、政府による財政支援など、具体的な対応策が課題となる見通しです。

PFAS問題への対応が求められる時代へ

PFAS問題は、私たちの健康や環境に大きな影響を及ぼす非常に重要な課題です。シェル商事では、企業や自治体向けに自社の検査機関を活用した水質検査サービスを提供し、飲料水等の安全管理をサポートしています。

現在、2026年4月に予定されている法改定を見据え、PFAS検査に関して自社分析対応も含めて、更なる技術の向上とサービス化に向けた準備を進めています。シェルグループはこれからも、企業や自治体と協力し、より安心できる衛生環境を守るために持続可能なサービスを提供してまいります。

今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面目公園昆虫館館長



ガロアムシの一種 (小斑薄羽蛭蝓)

アミメカゲロウ目ウスバカゲロウ科
学名：Gatzara jezoensis

ウスバカゲロウ類の幼虫は砂地にすり鉢状の巣を作るアリジゴクとして有名だが、本種は巣穴を作らず地衣類が生えた岩や樹皮の表面に生息する。体表に地衣類を付着させて巧みに擬態し、大顎に小顎がはまり込んだ構造の口器を開いて獲物を通りかかるのを待つ。

Information

● Pick up 展示会情報

国際ホテル・レストランショー（※シェル商事が出展します。）

会期：2025年2月4日(火)～2月7日(金)
会場：東京ビッグサイト 東1～6ホール
当社ブース位置：東5ホール_Q27

【来場事前登録】※入場無料

ご来場いただく際は事前にごちらから来場者登録をお願いします

▶▶ <https://www.jma-tradeshow.com/hcj/jp/registration.php?exhibitor=EX000505>

● 「トコジラぬ」トピックス情報

「トコジラミ白書2025」リリース！

→ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000082097.html>

予防×駆除サービスの特設サイト「トコジラぬ」を設置しています！

→ <https://ur0.jp/vd5EN>

Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を
配信中です。

